



ジャンプタイムス

宇美町スポーツ少年団

〒811-2121 糟屋郡宇美町平和1-1-1

宇美町住民福祉センター内

Tel 092-933-2784・Fax 933-2741

Eメール umi-machij.s.c.a@leo.bbiq.jp

編集:スポーツ少年団事務局



会員も30人を突破しリーダー会は活気にあふれています！

**偶数月第4日曜日に定例会を開催中
定例会に遊びに来てね！**



偶数月第四日曜日の17時から約1時間半、中央公民館の大研修室で定例会をやっています。

行事の打ち合わせや連絡事項を済ませたら、新しいレクやアクティブ・チャイルド・プログラムを体験したり、研修などのリハーサルを行っています。

メンバーは、これまでに30種目程度のレクを体験していて、シップス活動交流会やジュニアリーダースクールでのレクリエーションプログラムを指導したり、単位団活動で活用しています。

平成29年度会長 藤木雅貴君

リーダー会の新会長は、初心者バドミントンクラブの藤木雅貴君です。後輩たちのめんどろ見がよく、みんなから慕われているとても優しいお兄さんです。

会長になってまだ半年ですが、リーダー会を引っ張る機関車のような存在になれたらと、現在奮闘中です。



宇美町スポーツ少年団リーダー会（Uし会）では、只今新規会員大募集中です。一昨年の8月2日に15名で発足会を行い、丸2年が経過しました。現在は35名の会員がいろんな活動にチャレンジしています。

今年は、新潟県で開催された全国スポーツ少年大会にも福岡県を代表して3名が参加し、全国のリーダー達と交流を深めてきました。リーダー会に入会すると九州や全国の行事に参加しやすくなります。君もリーダー会に入って、全国のリーダーと友達になろう！

**只今！新規会員大募集中！
宇美町リーダー会**

**宇美町リーダー会のメンバーは
福岡県リーダー会でも活躍しているよ！**



九州ブロックミニバスケットボール交流大会の開会式で300人の参加者を前にレク指導を行うリーダー会メンバー

宇美町リーダー会前会長の田中優羽さんは、福岡県リーダー会の会長です。九州ブロックミニバスケットボール交流大会の開会式ですばらしい挨拶を行うとともに、交換交流レクリエーションで約300人の参加者にレクリエーションの指導を行い、大会を盛り上げてくれました。

合気道祥雲塾の寅田紗也香さんと誠心館空手道宇美八幡本部の佐藤匠君、ひばりが丘チェリオの吉本絢音さんは、今年新潟県で開催された全国スポーツ少年大会に参加して、全国のリーダーと交流してきました。

リーダー会員認定証を発行しています

公認資格であるジュニアリーダーやシニアリーダー資格を取得して、リーダー会活動を頑張っている会員が、高校や大学等の受験を行う際に有利になるよう、内申書などの調査票に、リーダー会での活動を記載してもらうよう所属する学校長あてに「宇美町スポーツ少年団リーダー会員認定証」を本部長名で発行しています。

低学年の保護者の皆さん！ぜひお子さんと一緒にジャンプタイムスを読んでください！



昨年に引き続き、テコンドーとの国際交流が実現し、テコンドーの蹴り技(回し蹴り)を教えてもらっているリーダー会の橋本悠杜君。実戦で活かせるように現在習得中です。

うみだすこ日韓青少年スポーツ交流 野球とテコンドーチームがやってきた 宇美ジュニアーズ球団・宇美ジャイアンツ ひばりが丘チェリオ・誠心館空手道・飛凰会

9月1日(金)と2日(土)の両日、韓国のソウル市にあるキョンヒ大学が運営するテコンドー道場と、野球クラブが宇美町を訪れ、宇美町スポーツ少年団員と日韓スポーツ交流を行いました。言葉はほとんど通じないのですが、身振り手振りで意思の疎通は行うことができました。笑顔あふれる国際交流となりました。



2年ぶりとなった軟式野球交流は、原の前野球場で開かれ、韓国からは20名が、宇美町からは、宇美ジュニアーズ球団・宇美ジャイアンツ・ひばりが丘チェリオから計40名が参加しました。交流試合の後には、お母さん方によるカレーライスパーティーや、スイカ割りで交流を深めました。韓国ではスイカ割りの風習がないそうで、大盛り上がりでした。



テコンドーと空手の異種目武道交流では、お互いに演武や型の披露を行った後は、グループに分かれて、技を教え合いました。テコンドーの縦回転の回し蹴りや三段蹴りなどを教えてもらったり、空手の型を教えるなど、言葉は通じませんが、団員たちは積極的にしかも笑顔でコミュニケーションを行い、素晴らしい武道交流が実現しました。



開会式終了後にリーダー会主導により、「関所破り」や「ジェスチャーゲーム」のレクリエーションを楽しみました。



シップス活動・熱中症予防講習会 いろんな単位団や他校の人と友達になったよ！ リーダー会が全体交流レクを指導

9月3日(日)に宇美町総合スポーツ公園と宇美南町民センターにおいて、シップス活動交流会と熱中症予防講習会が開かれました。

今年は、12単位団から120名の団員が参加し、リーダー会主導によるレクリエーションを楽しんだ後は、12班に分かれて、大縄跳び・いろいろなドッジボール・五本綱引きに挑戦しました。

普段一緒に活動することがほとんどない、他種目の単位団や他の学校の人との交流で、参加者たちは沢山の友達を作ることができたようです。



シップス活動の後には、大塚製薬の大田原先生に、熱中症予防のための講義を行っていただきました。熱中症は命に係わる重大な病気と聞いて、参加した団員たちも、おしゃべり一つせず熱心に勉強していました。

うみだすこ日韓青少年スポーツ交流の詳細は12月号で報告します。お楽しみに！

宇美ジャイアンツOB 橋口将崇君(秀岳館高校2年) 甲子園で決勝タイムリー



宇美ジャイアンツOBで、現在熊本県の秀岳館高校野球部に所属している、橋口将崇君(高2)が、夏の甲子園に出場し、対横浜高校戦の7回に代打で出場し、見事決勝タイムリーを放ち、勝利に貢献しました。

橋口君は、「びっくりしたけど、準備はしていた。いつも監督が口にする『誰が出てでも活躍できる。』という言葉に応えられた。」と、チームが目指してきた全員野球を体現しました。今後の活躍が期待されます。

旭地蔵尊夏祭りに参加しました 宇美ジュニアーズ球団



楽しかった旭地蔵尊夏祭り

宇美ジュニアーズ球団 中園 千恵

平成29年7月22日(土)上宇美本通りで行われた旭地蔵尊夏祭りに、1年生～4年生の下級生団員15名が参加しました。午前中から気温30度を超える暑さの中、勢い水をかけて頂き、地域の子供達と一緒に元氣におみこしを担ぎました。上宇美地区～宇美八幡宮～保育園を経由し、町内を一時間程練り歩きました。

旭地蔵尊夏祭りは、子どもの無病息災を願う、地域に古くから伝わる行事です。このような伝統行事に参加できて、団員達も楽しく貴重な経験になりました。上宇美本通りの皆様、お食事まで準備して頂き、ありがとうございました。

今年も極誠会選手が大活躍 ファイティングスピリット 格闘技選手権大会



平成29年6月4日(日)宇美南中学校体育館にて、ファイティングスピリット格闘技選手権大会が開催されました。九州各地より30団体200名の参加があり、3歳～一般までの男女が熱戦を繰り広げました。この大会は17年間続く歴史ある大会で、数多くのチャンピオンが誕生した大会です。また、極誠会選手も20名を超す入賞者が誕生し、日頃の練習の成果が表れた大会となりました。

極誠会では「勝つ事より礼儀作法。試合に勝つのではなく己に勝つ」を合言葉に日々練習に励んでおります。今の時代こそ正しい指導、礼儀作法を現代の子供達に伝承していきたいと思っております。

※宇美南中学校の武道場にて毎週水・金・土曜日に元気よく練習しています。随時見学と体験を受け付けています。

問合せ:080-5255-4422(カワノ)

HPは、上のQRコードからアクセスしてください！

福岡地区ボウリング交流大会

原田ARCSが参加



8月19日(土)に福岡市博多区のフラワーボールにおいて、福岡地区スポーツ少年団ボウリング交流大会が開かれ、原田ARCSが参加しました。参加者に感想を聞いてみました。

中村海斗 バスケ以外のスポーツでもみんなと仲良くなれる事を学びました。とても楽しかったので、またみんなとボウリングをしたいと思いました。

大川内祐真 始めは人がいっぱい緊張したけど、だんだんストライクやスペアを取ることができて、楽しかったです。またバスケの仲間と行きたいです。

奈木野蓮 ストライクが一回取れたので嬉しかったです。皆と一緒にボウリングが出来たことがとても良かったです。

梶友輝 ガターばかりで悔しかったけど、隣のレーンの野球の子はとても上手くてビックリしました。僕がスペアをとった時、野球の子も一緒に喜んでくれて嬉しかったです。またみんなと行きたいです。

小山幸之輔 みんなで初めてボウリングに行きました。ストライクの時はみんなも喜んでくれて嬉しかったです。またみんなとボウリングに行きたいです。

どの単位団でも入団できるよ！(ミニバスケは校区分けあり) 自分に合った種目、単位団を探してみよう！

見事！筑前地区大会優勝！ 県大会はベスト8に終わったけど 高校でも柔道を続けて頑張ります



少年柔道教室 主将 小林 勇祐

僕は3歳から柔道を始め、12年間宇美町武道館に通いました。

小さい時は、あばれてばかりでいつも怒られていましたが、この12年間柔道の練習に行くのが嫌なことは一度もありませんでした。それは、厳しいけど優しい先生方やおもしろい先輩や後輩、友達がいたからです。

毎日、受け身やケガをしないための基本の練習をやり続けました。小学生の高学年になると勝ちたいという気持ちがどんどん大きくなり、打ち込みや投げ込みに力を入れて一生懸命練習しました。その結果、中2の時に県大会でベスト8になることができました。

そして今年は最後の中体連でした。地区・筑前大会と一位で通過して、県大会に挑みました。結果は去年と同じくベスト8でした。負けてしまった時は、とても悔しくて涙がボロボロ出ました。それは今まで僕に期待をして指導してくださった先生方に申し訳ないという気持ちでいっぱいになったからです。なぜ3分間、気持ちがたもてなかったのか？あつという間の3分間でした。悔いの残る結果になりました。高校生になっても柔道を続けて、自分の苦手な心の弱さをもっともつと鍛えたいと思います。

最後に、これまで支えてくださった先生や先輩方、そして仲間達、柔道の魅力や楽しさを教えて頂き感謝しています。柔道を好きにさせてくれてありがとうございました。

初めての中体連

宇美町初心者バドミントンクラブ 沖村 愛奈

7月15日にバドミントンの中体連が行われました。初めてのの中体連で試合前はとても緊張していました。

一回戦が始まりました。私は心を落ち着かせて試合に臨みました。最初は緊張で、自分の思った通りに打てなくて、点数をどんどん取られてしまいました。休憩の後、もう一度心を落ち着かせて試合に臨みました。相手の弱点が少しずつ分かってきて、そのコースに打ち込むと点数が取れるようになりました。でも、相手にも私の弱点が分かっているの、ものすごく前後に動かされてしまいました。そして、最後のマッチポイントで私が相手に球を返せず、一回戦の試合で負けてしまいました。試合は負けたけど、初めてのの中体連だったので、とてもいい経験になりました。

次は、新人戦に向けて練習を頑張っていきたいです。

UGTCジュニア陸上教室 部活で陸上部が無い中学生も 学校との連携で中体連に出場



UGTCでは、町内の小中学生を対象に、陸上競技の普及・振興を目的に活動を行っています。中学生は約10名がクラブに所属し、学校部活動と両立する団員もいれば、クラブの活動だけに参加し大会に出場する団員もいるなど、取り組み方は様々です。

今年の中体連陸上は、糟屋区大会において、優勝(2種目)、3位(2種目)をはじめ、クラブに所属する全員が筑前地区大会に進むことができました。また、地区大会では、女子走幅跳(2位)、女子1500m(5位)と2名が県大会に出場、県大会では女子走幅跳で7位入賞をし、初めての県大会入賞者が生まれました。

クラブの練習は週3回程度と限られた内容ですが、それでも結果を残すことができたのは、クラブの練習内容が成長期の中中学生にとって、やり過ぎず丁度いいものであるということが確認できました。

これからも選手1人1人に合った指導を行い、自己記録の更新、大会での入賞など、ある程度の結果も目指し、陸上競技本来の楽しさを感じてもらえるよう、引き続きサポートをしていきたいと考えています。(指導者：藤木)

【中体連入賞者】

糟屋区大会 1位 久永里歩(走幅跳)、梅木南美(砲丸投)3位 橋口采音(走幅跳)、女子400mリレー(久永・橋口・林・小材)

筑前地区大会 2位 橋口采音(走幅跳)、5位 下村日奈子(1500m)

福岡県大会 7位 橋口采音(走幅跳)

宇美町初心者バドミントンクラブ クラブでの経験を活かして 目標に向かって頑張るぞ！



宇美町スポーツ少年団では144人の中高生団員が熱心に活動しています。

(公社)日本空手協会宇美支部 全国空手道選手権大会に出場



宇美南中学校 1年 新津温斗

僕は、8月の5・6日に群馬県で行われた第60回全国小学生・中学生空手道選手権大会に出場しました。

全国大会に向けて、先生からのアドバイスや応援をして頂き、精一杯頑張ってきました。会場には、三千人を超える選手で圧倒されました。自分の試合が近づくと、今まで以上に緊張しました。結果は、一回戦で負けてしまいましたが、目標にしていた積極的に攻める試合をする事が出来ました。そして、また全国大会に挑戦するという新しい目標が出来ました。空手を通して新しい友達もできました。これからも空手を続けていきたいと思っています。

宇美剣友会少年剣道 三中合同稽古でめきめき上達 県大会出場を目指して頑張ります



中体連を終えて

宇美南中学校 清水 春喜

僕は去年、中体連の団体戦では粕屋地区大会の決勝リーグにて敗退してしまいました。だから今年は、筑前地区大会出場を目標にして頑張ってきました。

そして大会当日、予選リーグで三校と試合をしました。結果は残念ながら、予選リーグ敗退となってしまいました。

中体連を通して、改めてチームワークの大切さを思い知りました。来年は最後のチャンスなので、県大会出場ができるように、仲間と心をつ一つにして日々稽古に励みたいと思います。

バドミントンキャンプ合宿

中学3年 大田 怜奈

5月6・7日の一泊二日でバドミントンのキャンプ合宿がありました。まず、私たちリーダーで計画立てをしました。スケジュール・ご飯のメニュー・班のメンバー編成などを話し合いました。

合宿だけじゃ楽しくなかったら意味がないと思ったので、みんなが楽しめるような計画立てをしました。大変で難しいなと思ったけど、まわりのリーダーの人や、コーチや大人の方に支えられて、無事計画立ては終了しました。

当日になり、私はリーダーとして頑張ろうと思う反面、本当に楽しかったのでテンションが上がっていました。キャンプ場に到着してから、小学生の団員たちを誘導しなければならないので、他のリーダーたちと連絡を取り合って指示をして、私は大人の人と荷物運びと夕食づくりにとりかかりました。夕方になってみんなに布団の敷き方を教えて、正しく敷いているかをチェックしてまわりました。布団を敷く時に協力することができてよかったです。そしてリーダーとしてみんなに指示したり、布団を敷かせたりすることができて嬉しかったです。

多人数に同じことをしてもらおうのは大変で難しいと改めて思いました。このキャンプを通して、リーダーとして頑張ることができてよかったです。そして改めてリーダーの大変さと仲間と協力することもできたのでとても良いキャンプ合宿になったと思いました。

中高生リーダーが活躍するクラブ運営 リーダーが企画した合宿は楽しいよ！ 宇美町初心者バドミントンクラブ



合宿に参加した初心者バドミントンクラブのメンバー



合宿恒例の川遊び！安全管理を勉強したリーダーの下で、楽しく遊びました。



昼食はみんなで作ったオープンサンド！とても美味しかったよ！

今回はスポーツ少年団で頑張っている中高生団員の活躍を特集しました。



日本武道の聖地日本武道館の大きさと熱気に圧倒されながらも、持てる力を十分に発揮してきました。

宇美剣友会 永井 晴

平成29年7月25日、日本武道館にて第52回全国道場少年剣道大会がありました。その試合は団体戦で、全国各地から予選を勝ち抜いたチームが参加する大会でした。宇美剣友会のメンバーは先鋒 緒方昊、次鋒 北崎遥菜、中堅 大津一佳、副将 塚本愛実、僕は大将で出ました。1回戦は愛知県のチームで、試合は接戦になり、僕の順番に回ってきた時には1対1でした。「ここで僕が負けたら終わりだ。」と思い、今まで感じたことのない緊張感のはしりとも足が震えました。「このままでは動けずに負けてしまう。」と思って気を取りなおし、大きく深呼吸しました。すると気持ちが落ち着きしっかり試合ができ、勝つことができました。続く2回戦はシードの埼玉県のチームでした。緊張もほぐれシードチームでも勝てそうな気がしましたが、結果チームは負けました。でも日本武道館で試合ができたことは良い経験になりました。負けた悔しさを忘れず、全国でも上位に入れるように、これからの稽古を頑張りたいと思いました。試合に行く前に色々な方々から応援してもらえたことはとても嬉しかったです。

第52回全国道場少年剣道大会 宇美剣友会少年剣道が初出場！ 武道の聖地日本武道館で熱戦

平成29年7月25日に、東京都の日本武道館において、第52回全国道場少年剣道大会が開催され、宇美町から福岡県予選会を勝ち抜いた、宇美剣友会少年剣道が初出場しました。

武道の聖地である日本武道館で、会場の雰囲気圧倒されながらも、素晴らしい経験を積んできました。



宇美町スポーツ少年団から誠心館宇美八幡本部の佐藤匠君、合気道祥雲塾の寅田紗也香さん、ひばりが丘チェリオの吉本絢音さん、事務局長の丸山康夫さんが参加して全国の仲間たちと交流してきました。来年は茨城県で開催されますよ！沢山の申し込みをお待ちしています。



障がい者スポーツの車いすバスケットボールやボッチャ、卓球バレーボールを体験しました。

これら障がい者向けに考案されたスポーツは、健常者でも大いに楽しむことができますし、障がいをもった方々と一緒にスポーツ活動を楽しむことで、障がい者に対する理解が深まります。これらのスポーツ活動を通して、共生社会の実現に向けた第一歩を踏み出すことができると実感しました。

宇美町スポーツ少年団でも、2020東京パラリンピック大会を機に、こうした障がい者スポーツの体験会を開催することも大切なことだと感じました。

第55回全国スポーツ少年大会 全国の仲間と新潟県妙高市で交流 宇美町リーダー会から3人が参加

7月28日から31日にかけて、新潟県妙高市で開催された第55回全国スポーツ少年大会に、宇美町スポーツ少年団リーダー会から3人が参加しました。

今年から中学・高校生が参加対象となり、将来町団や県団を引っ張っていくリーダーの育成に主眼を置いた大会となりました。

障がい者スポーツの「車いすバスケットボール」・「ボッチャ」・「卓球バレーボール」の体験会や、スキーのサマージャンプを目の前で見学したり、ボルダリングやスケートボード等のオリンピックの新種目を体験するなど、参加者は見聞を大いに広めました。

今回の大会は、日独同時交流で来日しているドイツのスキーユージュントの仲間たち12人も活動に参加し、交流を深めてきました。



リーダー会の佐藤匠君。オリンピック新種目のボルダリングに挑戦しました。「今回は4m位までしか登らなかったけど、それでもかなり怖かった。いつか15mの高さに挑戦してみたいです。」と語っていました。



ドイツ団の仲間達は、キャンプファイヤーで民族ダンスを披露してくれました。そのあとは参加者全員で汗だくになりながら、ジンギスカンダンスなどでメッチャ盛り上がり、夏休み最高の思い出を作っていました。

宇美町は日本でも有数の武道が盛んな町なんだよ！さあ君も武道で心と身体を鍛えよう！



キネシオテープの使い方を熱心に研修する参加者

第2回指導者・母集団研修会

1. 内容 アクティブ・チャイルド・プログラム講習会
2. 講師 認定育成員
宇美町スポーツ少年団事務局長 丸山康夫
3. 日時 平成29年12月17日(日)
17:30～開場・受付 17:45～開会行事
17:50～18:20 座学 18:30～20:00 実技
20:00 解散・後片付け
4. 会場 宇美南町民センター

日体協公認スポーツリーダー養成講習会兼
認定員養成講習会を開催します

認定員資格未取得のみなさんの
沢山の参加をお待ちしています

- * 期日 平成29年11月19日(日)・26日(日)
9時00分より受付
- * 場所 宇美南町民センター
- * 対象 ①スポーツ少年団登録指導者
②次年度に指導者登録が見込まれる方
- * 受講料 3,240円(資料代1,080円を含む)
- * 申込み 各単位団を通じて宇美町スポーツ少年団事務局に申込んでください。
10月24日(火)必着

日本スポーツ少年団の公認資格である認定員資格は、平成27年度からはスポーツ少年団に登録する際に、各単位団に最低2名以上の配置が義務化されており、認定員を2名確保していない単位団は、日本スポーツ少年団に登録できなくなりました。

認定員養成講習会を受講すると、認定員資格と合わせて日本体育協会公認資格のスポーツリーダー資格も合わせて取得できます。

一般の方が受講する際は、3ヶ月間の通信講座と、費用も24,000円必要ですが、スポーツ少年団登録指導者は2日間の受講で、費用も3,240円で取得できるなど大変優遇されています。

この機会に認定員資格未取得の指導者のみなさんの受講をお願いします。

指導者・母集団研修会 テーピング講習会に60人が参加 第2回はA・C・P講習会やりますよ

平成29年度第1回宇美町スポーツ少年団指導者・母集団研修会が、8月24日(木)に宇美南町民センターで開かれ60人が参加しました。今回は指導者からの要望が多かった、スポーツ傷害予防のためのテーピング活用術を学びました。

筑紫野市原田にある「とうの鍼灸整骨院」院長の東野広明先生を講師に迎え、応急処置法であるRICE療法を始め、伸縮性テーピングの使用法を熱心に学びました。

第2回は、12月17日(日)にアクティブチャイルドプログラム実技講習会を開催します。沢山の参加をお待ちしています。



A・C・P実技講習会はとっても楽しいですよ！



指導者の横顔

桜原ミニバスケット
ボールクラブ

指導者 秋岡ハ千代さん

秋岡さんは、桜原ミニバスの創立メンバーで、小学5年生からバスケットを始め、中学・高校・専門学校までバスケットボールを続けてこられました。

指導者になったきっかけは、同じ発足メンバーだった前の指導者から一緒にバスケットの指導をやらないかと誘われたのが始まりで、その方が指導を辞められた後も、女子の指導は約12年間にわたって、ほぼ一人で行ってこられました。昨年から女子の指導者が3人体制となり少しは気が楽になったそうですが、責任感と熱い気持ちはどこの指導者にも負けていません。

指導のモットーは、技術うんぬんよりも、団員たちを人としてきちんと育てることを大切にされています。あいさつは基本中の基本で、しっかりできるように。また、チームプレイをとおして、人に対する思いやりの気持ちや、人間形成を大切に指導されています。

現在は、ご実家の仕事を手伝いながら指導者として活動しておられますが、一般企業に勤めている方や家事との両立等、女性指導者が活動していくうえで乗り越えなければいけない壁が多くあると思います。女性指導者の数を増やすとともに、女性指導者への理解が深まり、取り巻く環境が改善されていくと、指導も続けやすくなり、ひいては女子団員の拡大にもつながっていくと思います。

団員へのメッセージは、「私自身本当に口うるさい指導者だと思っています(笑)が、桜原ミニバスを卒部したときに、全てにおいてよかったと思ってほしい。そのために私も全力で指導していきます。」と語られました。



とっても素敵な単位団紹介 桜原ミニバスケットボールクラブ



8月6日(日)に、サンビレッジ茜で、BBQ交流会が開かれました。この日は団員だけでなく、保護者や弟妹にも参加していただき、クラブの楽しい雰囲気を満喫してもらいました。(弟や妹たちもたくさん入部しているんですよ!)

他にも、海ノ中道海浜公園に遠足に行ったり、新入団員歓迎会など楽しいイベントを開催しています。こうした楽しい雰囲気づくりの成果もあって、団員も増えており、桜原ミニバスは今、活気にあふれています!

イカテン(10歳以下)カップで優勝!
下級生団員も頑張ってますよ!



いつもは試合に出る上級生も、この日は下級生の応援とサポートに専念して、チーム一丸となって優勝を目指しました

新宮町で開催された「イカテンカップ」(10歳以下の団員が参加する大会)に、桜原ミニバスの女子チームが参加しました。

現在、4年生団員が6人在籍しており、その子たちが大活躍! 見事優勝することができました。県外からも参加がある大会で優勝することができ、下級生団員たちも大きな自信となりました。

下級生団員も上級生に引っ張られてバスケットを楽しみながら頑張っていますよ!



とっても素敵な単位団「桜原ミニバスケットボールクラブ」は、今年で創設24年を迎える、伝統あるクラブで、宇美町スポーツ少年団にも設立当初から加盟しています。

宇美町内のミニバスケットボールクラブは、校区によって入団できるクラブが決まっており、桜原ミニバスケットボールクラブは、桜原小学校と宇美東小学校の子ども達が入団できます。現在、男女合わせて37名の団員が5人の指導者の下で楽しく活動しています。

ただ今、新入団員大募集中です。ぜひ、桜原小学校体育館に見学に来てください! お待ちしています。



私と一緒にバスケットにチャレンジしてみない?
宋 芹葉さん(桜原小6年生)



私は、小学1年生からミニバスケットボールを始めて、今年で6年目です。現在桜原ミニバスケットクラブの女子キャプテンとしてチームをまとめ、秋の中部地区大会出場をめざして頑張っています。

みんなと一緒に練習したり、試合に出場して、チームプレイがうまくいき点が取れた時などとても嬉しいです。キャプテンとして、すごくやりがいを感じます。

只今! 新入団員を大募集しています。私たちと一緒にミニバスケットにチャレンジしてみませんか? 桜原小学校の体育館で練習していますので、まずは見学に来てください! 待ってまーす!

只今! 新入団員大募集中!
桜原小学校体育館に見学に来てね!

- * 練習場所 桜原小学校体育館
- * 練習日・時間 火・木・土曜日(土日に試合あり)
火・木(17:00~19:30)・土(16:00~19:00)
- * 会費等 月会費2,000円
- * 対象者 対象者: 桜原小・宇美東小の男女

宇美町スポーツ少年団では13種目26単位団で約750人の団員と約179人の登録指導者が活動しています。